



Anshin&Anzen 安心と安全

地域とお客様と従業員を護る

防犯や災害対応は地域で連携

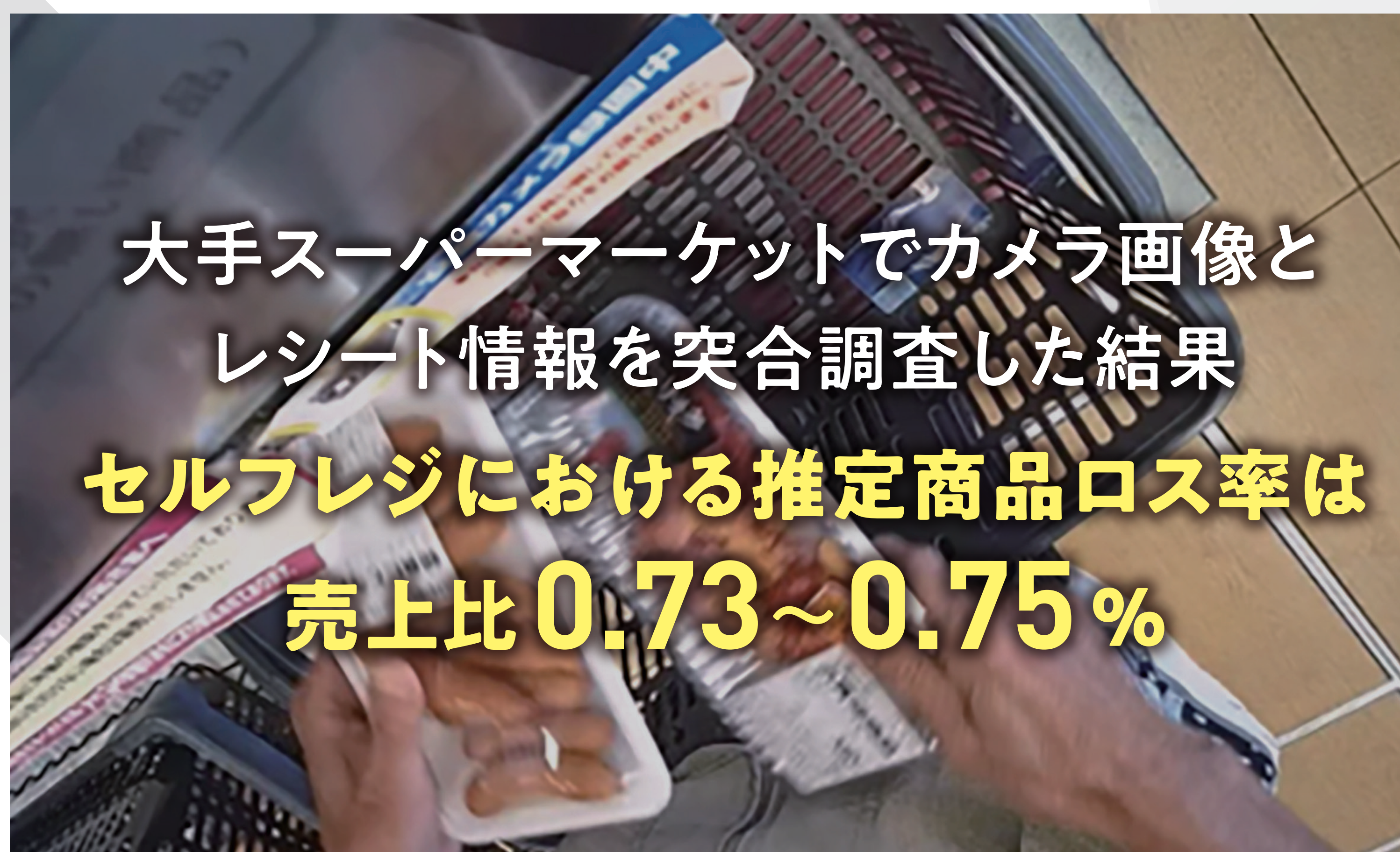
セルフレジの商品ロス対策

実態調査で確認された商品ロスの発生原因

- ・未スキャン、複数商品を重ねてスキャン
- ・商品バーコードの不正、個数や商品の手入力の不正
- ・未会計(商品スキャン有、スキャン無)

懸念していること

- ・レジ操作の「うっかり」から「故意」への発展
- ・セルフレジ対応従業員の心理的、身体的負荷の増加
- ・地域環境の悪化

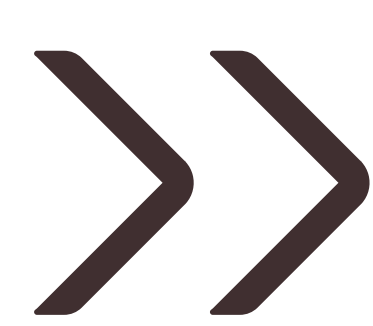


安心・安全のために競争を超えて協調できる場の用意

「セルフレジ」の不正防止についての意見交換・勉強会 2024年2月22日開催

全国の小売業37社 123名参加

- ・大手小売業のロスの実態と対策の事例紹介
- ・海外事例の紹介
- ・各社の課題と事例のディスカッション実施



継続的な勉強会の開催と、小売業界内で協調して、共通の対策を「ソフト」面と「ハード」面の側面で推進していくことを確認

勉強会参加者のディカッションの結果、小売業が意思をもって推進する必要があるとの認識

関係各所

- ・産官学連携
- ・各協会連携
- ・地域連携
- ・法整備

連携
↔

「ソフト」面

小売業が主導となった会を継続開催
「セルフレジ対策を考える会(仮称)」

情報交換／勉強会

各社課題のシェア・各社対策事例のシェア・
アテンダント勉強会・海外事例研究 等

共通対策マニュアル作成等

アテンダントさんお声がけ・対策集 等

POSベンダーとの連携

改善要望・協働で対策検討・技術勉強会 等

関係
↔

「ハード」面

各POSメーカーが主体となって連携

協調領域

・POSとしての対策機能の
標準化の検討

・統一オペレーション等、
運用の効率化

競争領域

・先端技術
・ソリューション

【ポイント】

1社で解決するのではなく、
業界として考える

上記は、勉強会参加の小売各社の思いであり、POSベンダーが合意した内容ではありません。



TEAM K.O OFFICIAL SITE >

